

東京鷹桜同窓会報



ご挨拶

会長 守谷 次郎 (昭和 38 年卒)



東京鷹桜同窓会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。日頃から同窓会活動にご支援、ご協力を頂き厚く感謝申し上げます。

東京鷹桜同窓会は昭和五十五年十月十八日に東武バンケットホールにて母校創立六十周年祝賀行事を兼ね統合後第一回の総会・懇親会を約三百名の会員を集めて行われました。その後、毎年総会・懇親会を開催してきたところですが、平成十三年の第二十一回、総会・懇親会を機に百名以上の出席がなくなりました。原因理由の究明には細かな分析が必要なのでしょうが、嗅覚的に申せば戦前世代・戦後直後世代の方々の渴望的な母校への帰属意識があったからではないかと思っております。某校の同窓会総会出席者は七十～七十九歳世代が最多との分析にも符

合します。時代の推移を考えれば、個人意識の変遷がありますので、当面総会出席会員百名以上を目指すには七十～七十九歳世代の方々により多く出席頂けるように、役員始め学年幹事をお願いして勧誘すればよいこととなりますが、それでは若手世代との交流が一向に進まないことになり、ディレンマに悩まされます。仮称子育て世代・勤務世代の方々と同窓会への積極的参加を呼び掛けても無理な面があるかと思っておりますので、積極的な意思のある人材を発掘して将来の基幹要員とするのが大事かと思っております。

その具体策はどうなのかとのお叱りが出てきますが、地道な情報収集と前後左右の人間関係しか思い浮かびません。

同窓会の目的は、会員相互の親睦と母校への貢献です。初めて総会・懇親会に見えた方の述懐にもありますが「知っている顔は殆んど見当たらず、戸惑いをした」とありましたので、古くからの会員は新規出席会員には積極的に声掛けをして早く仲間内に入って頂くように配慮をお願い致します。今年の総会・懇親会へも「出会いと旧交を温める」べく

“まらず、来ておごやエッし！”

目次

- P2 聴衆の大きな感動を呼んだ今年の支援コンサート！！ 工藤 美知尋
- P3 600人で歌った『広い河の岸边』 八木 文明
- P4 「日々つれづれ」 宮崎 正義
- P5 平成 30 年東京鷹桜同窓会総会・懇親会のお知らせ
- P6 人生は旅路 高梨 英司

- P7 電話交換手の職業を選んで 川崎 美和子
- P8 発足 2 年目の『ふるさと長井会』 那須 優則
- P10 第 13 回イーグル会 レポート 庄司 信明
鷹桜俳句会始めました！！ 福田 ふみ子
- P11 平成 29 年度決算報告、平成 30 年度予算・活動報告

聴衆の大きな感動を呼んだ今年(6月8日・東京)の支援コンサート!!

鷹桜サロン主催 コンサート実行委員長 工藤 美知尋 (昭和 41 年卒)

ご案内のように東京鷹桜同窓会では、昨年度から、我が母校である県立長井高等学校百周年記念として、2020年に『記念碑建立』をすべく、その資金集めのコンサートを実施している。



今年6月8日(金)、都内渋谷区初台にある東京オペラシティ3Fにある「近江楽堂」において、昨年に続き八木倫明(S51卒)カルテット『リベルタ』による支援コンサートを開催した。

今年の八木りんカルテットは、ケーナ・チェロ・アルパ・ギターの編成だった。これにゲスト歌手として、荒砥出身のソプラノ歌手文屋小百合さん(二期会)をお迎えして、午後2時と夜6時30分からの2回にわたって支援コンサートが開催された。昼夜とも座席総数120席は満員の盛況で、大きな感動の渦に包まれた。

ゲスト歌手の文屋小百合さんは、第3回東京音楽コンクール声楽部門で優勝したキャリアの持ち主で、そのアーティスト・キャリアに恥じない素晴らしい歌声を披露してくれた。

『思い出のサリーガーデン』を手始めに、ヘンデル作曲、歌劇『セルセ』より『オンブラ・マイ・フ』

(懐かしい緑の木陰)、そしてマスカーニの『アヴェ・マリア』と、張りがある声量に満ちたアリアを歌ってくれた。

中休みがあった後半の冒頭には、目代広志作詞、佐々木辰彦作曲の『長

井高校応援歌』まで披露してくれたのには、聴衆全員がびっくりもし、大いに感動もした。

会場には作曲をした佐々木辰彦氏(S33卒)もちょうど居合わせており、自分が作曲した応援歌を聞いて、非常に感激された様子だった。佐々木先輩にとっては、生涯の晴れ舞台だったかも知れない。

ところで文屋小百合さんは、残念ながら長井高校出身ではない。荒砥中学から山形西高校音楽科に進まれ、国立音大に進学後、さらに同大学院音楽研究科声楽専攻オペラコースに入られ、研鑽を積まれた。



支援コンサートを活気あるものにするためには、毎回バンド編成や歌手を多少入れ替えしなくてはならない。そこで今回は文屋さんをお願いすることにした。

この文屋さんをこれまで強力に支援してこられたのがS41卒の佐々木清彦君で、そんな縁で、今回の文屋さんのお出演が実現した。この場をお借りして、清彦君には感謝の辞を申し上げたい。
*来年の東京公演も、今年と同じ日の6月8日(土)[近江楽堂]で、第1回 12:00~14:00、第2回 15:00~17:00を予定している。来年のコンサートが最終になるので、OB・OGの皆さまは、是非ご参加いただきたく思う。土曜日なので、コンサート終了後、各学年懇親会などを企画されては如何だろうか。

なお記念碑建立の収益金は、お陰様でこれまで90万円ほどになっている。皆様方のご協力に対して、心から御礼を申し上げる次第である。

2018 9/29 (土) 午後4:00開演予定 (3:30開演) 長井市 TASホテル コンベンションホール

★ソプラノ 望月成美★
ソプラノ、荒砥出身のソプラノ歌手、二期会所属。第3回東京音楽コンクール声楽部門で優勝したキャリアの持ち主で、そのアーティスト・キャリアに恥じない素晴らしい歌声を披露してくれた。

八木倫明カルテット
八木倫明(長井)指揮
ケーナ、チェロ、アルパ、ギター

小野美穂子 ONO Misako
フルート/トランペット
藤枝真子 FUJIEDA Makiko
アルパ
三塚幸彦 MIYAZUKA Yukihiko
チェロ
八木倫明 YAGI Rinnai
ケーナ/ピアノ

主催 長井高等学校同窓会(会報)★
実行委員長 佐々木辰彦(代表 金子在郎)★

●観覧料(自由席)●
一般 ¥2,000- (当日 ¥2,500-)
大学生 ¥1,000-
小中高生 ¥100-

●お問い合わせ先●
鷹桜同窓会事務局 0238-84-6051
鷹桜同窓会事務局 0238-84-6051
鷹桜同窓会事務局 0238-84-6051
鷹桜同窓会事務局 0238-84-6051

(今年9月29日長井でのコンサート)

600人で歌った『広い河の岸辺』

～「木星音楽団地球音楽会 in 長井」終了!～

長井・実行委員長 八木 文明 (昭和 39 年卒)

1000人収容の長井市民文化会館ホールに、知名度のない木星音楽団のコンサートで果たしてお客様を集めることはできるのか？

このコンサートの計画が私に伝えられた1年前、そのことが最大の心配事でした。

「葉っぱ塾」が主催して、100人、あるいは150人の小さなホールでの公演は何度か実績を作ってきましたが、ホールの規模が全く異なるものですから、私一人だけだったら、きっとこのようなことは考えもしませんでした。

このコンサートの発案者は、長井高校の6年先輩にあたる工藤美知尋さん。長井市のご出身ではありますが、東京在住でいらっしゃいます。しかし、工藤さんの自分の故郷に質の高い文化の風を吹かせたいという思いは強く、私が工藤さんとこの件でお会いする前には、長井市や市の教育委員会に対して既に共催の内諾を得てくださっていました。

しかし、話が進むに連れて、ホールを確保した10月14日(土)は、長井市内で様々な行事が集中する日であることがわかったため、集客のハードルは益々高くなってゆきました。

工藤さんや、弟の同級生たちの呼びかけに応じて実行委員になってくださるとい方が次々と現れたのは、本当にありがたいことでした。これまでの「葉っぱ塾」の活動のネットワークにはおられなかった方々がほとんどでした。

市や教育委員会の共催が実現したことで、チラシの市内への全戸配布や、市内小中学生全員への配布などが実現したことは、コンサート間近になってのチケット購入の伸びにつながりました。

今回は出演者の中に、長井高校音楽部の生徒たちが含まれていました。私ややぎりんの後輩にあたる生徒たちが、やぎりん訳詞の『広い河の岸辺』を歌ってくださる。これは、楽しみでもありましたが、一方では「どんな合唱なのだろう？」という不安もありました。

しかし、コンサートの4日前の10月10日、やぎりんが東京から日帰りで長井に来て、長井高校の生徒たちの練習と一緒に立ち会ったときに、その不安はほぼ消えました。10人というわずかな人数ながら、楽譜をしっかりと読みこなし、正確な音程で歌ってくれていました。

8月末に出したダイレクトメールの数はおよそ1100通。9月も下旬になって、じわじわとその反響が出てきました。

コンサート前日までに集計したチケット売り上げ枚数は約550枚。これには小中高生の無料整理券の分は含まれていませんでしたから、まずは恥ずかしくないほどの入場はあるものと胸をなでおろしました。

「実行委員をお願いします」と言われて負担なのは、チケットを売らねばならないということです。少ない実行委員が一人何十枚も売るとのことよりも、多くの実行委員が少しずつ、というスタイルに近づけたいと考えていたことは、ほぼ実現できたと思っています。

嬉しかったのは、「葉っぱ塾」とのつながりで、仙台や新潟からも聴きにおいでくださった方々がいらっしゃったことです。また、弟のつながりでは、東京や福島からも10名以上駆けつけてくださいました。当日の入場者は、私の予想を超えてほぼ600名となりました。

公演前半の最後は、長井高校音楽部の女声三部合唱による『広い河の岸辺』。若者らしい澄んだ歌声がホールに響きました。

母校の先輩でもあるソプラノ歌手の竹田恵子さんは、アンコールとして『広い河の岸辺』を歌ってくださり、そのあと、ホールのお客様と出演者も一緒になって、『広い河の岸辺』を歌いました。



600人の歌声がホールを満たしました！

長井市での『広い河の岸辺コンサート』、既に今年の実施と日程も決まっています。2018年9月29日(土)午後4時開演、会場は「タス・パークホテル コンベンションホール」です。山形県の母なる川・最上川の岸辺の会場で、今後このコンサートを継続開催できたら、どんなに素晴らしいことでしょうか！

皆さんも、来年ご旅行を兼ねておいでになりませんか？

「目々つれづれ」

宮崎 正義 (昭和 42 年卒)

昭和 42 年 (1967 年) 卒業の私たちの学年は、今年誕生日を迎えると 70 歳古稀に達することになってしまいました。

戦前に作られた童謡「船頭さん」に、♪「村の渡し
の船頭さんは今年六十のお爺さん♪」という歌詞があります。童謡に歌われて人口に膾炙するくらいですから、当時として 60 歳は立派なお爺さんだったのでしょ。現在の観点からすると 60 歳でお爺さんとはあまりにも早く信じられませんか。団塊の世代に生まれ、受験戦争にもまれて来た私たちも、その 60 歳を越して 70 歳にならんとしています。はるばるとよくもここまで来たものだといながら感慨に浸っております。一方で、団塊の世代については、「逃げ切りの世代」と呼ばれていると何かで聞きました。「言い得てる」など妙に納得している自分があります。



(ノーアイロンの愛好家です)

確かに、気持ちだけは以前のまま変わらないのですが、残念ながら容貌と足腰の衰えは隠せません。

65 歳以上は割引優待制度のある施設の入場券売り場で、口頭申し出るだけで年齢の分かる証明書の提出を求められなくなったのはいつころだったろうか？ 最近「生年月日を教えてください」と言われることが多くなりました。電車の中で初めて席を譲られた時の困惑の気持ちは、皆さんもご経験があるのではないのでしょうか。「ありがとうございます」と言って座らして頂きましたが、そんなにも年寄りに見られたのかとガッカリした記憶があります。現在までに 3 回席を譲られた経験があります。

自分が認識・自覚していないままに外観も老化が進んでいるということかと少しは反省し、外出の際は身なりをキチンとする。無精ひげは剃る等々を心掛けていますが、生来の無精者で身の回りには無頓着なのでシャツはいつもノーアイロンのままです。

また、昨年、久しぶりにプールで泳ごうとしたのですが、平泳ぎが前に進まない。足の力が

弱く十分な推進力を出せず足から沈んでしまうのです。

私は、毎日ウオーキングをやっており、歩数の記録も毎日取っており、過去 3 年間の一日当りの平均歩数は 1 万歩以上であるにもかかわらず、足の衰えは止まっていなかったことに愕然としています。歩き方が悪かったのかと反省し歩き方の勉強もしていますが、つまづくことが増えています。

時の経つのも早いですね。寒い寒いと文句を言っていたのに、あれよあれよ梅が咲き、桜も散ってしまいました。行く春を惜しむ間もなく初夏の装いです。まもなく暑い暑いと文句を言う夏がやってきます。年金生活に入ってから時間の経過は、年齢に比例 (年齢の二乗に比例?) しているのではないかと思うほどです。

米国の詩人ロバート・フロストの詩に、The Road Not Taken. というのがあります。「行かなかった道」、「選ばなかった道」とでも訳すのでしょうか。行けば行けたのに行かなかった道。70 歳なろうとしている自分にそんな道があっただろうかと……

この詩に出会ったのは 40 年も前ですが、昨年本の整理をしていた際にフロストの詩集が奥の方から出て来ました。ご丁寧に付箋までしてあったのがこの詩でした。自分の通って来た道を振り返った時に、自分の今後や進路を決めるために、あるいは二者択一を迫られて悩んだことはあっただろうかと思うことがあります。今さら、来し方を振り返っても詮方ないのですが、頭の体操として考えてみました。頭脳の老化防止の一環です。

いろいろと思い出すのはばかれるものはたくさんあるのですが、多くの人に共通するのは、就職と結婚ではないでしょうか。

私の場合は、就職の例を紹介させていただきます。何の会社かも知らずに受験し、たまたま大量採用の時期だったのが幸いして採用されて以来 34 年間のサラリーマン生活を送ることになりました。先輩諸氏からは「君は採用ミスだ」とよく揶揄されました。採用通知を貰った時に、私は「図書館司書」になりたいという希望を持っていましたので、この会社に行かないという選択もあったのですが、親の薦めもあり、また初任給が高かったので行くことになりました。その結果が、年金生活者として「逃げ切り」態勢にはいっております現在の私です。

既に両親、義理の両親も亡くなり、伯父、叔母

達も鬼籍に入ってしまった。今や従兄・従姉、兄弟が亡くなりつつあります。自分もこのまま年を取りいつか死んでいくのだろうが、先行き認知症や寝たきり等になったらどうなるのだろうという、将来に対する漠然とした不安があります。そんな時に思い起こすのが、高校時代に読んだ夏目漱石の『こころ』に出てくる「精神的に向上心のないものは馬鹿だ」という言葉です。いつも楽な道、怠惰な生活に流される私に、実際に実践できるかどうか自信がありませんでした。どうせ途中で挫折するにきまっていると。そこで、少しは考えたのでしょ。実行実践はできなくとも、「精神的に向上」しようとする「意志の姿勢」だけは最低限持ち続けようとしたのです。そしてその姿勢は現在も何とか細々と続いています。

今は、「65歳から前期高齢者」、「75歳から後期高齢者」と失礼な呼び方が跋扈しています。日本人男女の平均寿命は世界のトップレベル。100歳以上が7万人近くいる長寿大国です。本当かなと私は半信半疑です。日野原重明先生のように最後までお元気で105歳の天寿全う出来れば宜しいのですが、日本の長寿社会には、寝たきり、認知症、介護の問題があるのではないのでしょうか。これら

の問題が自分自身の問題になってきていることを痛切に実感しています。

日本人二人に一人がガンになる時代です。私もその一人に当選しました。

また、近年、物忘れが激しく、中学生の孫には「ジージ病」と呼ばれています。時間は、その使い方を問わずに、万民に平等に過ぎてゆきますが、寿命は公平ではなさそうです。

何とか最期まで意識がしっかりしていて、自分のことは自分で出来る人生を送って行きたいと思っていますが、どうなることやら…。老いについてとりとめのないことを書いてまいりましたが、最後に、正岡子規の『病床六尺』からの引用で終わります。「悟りといふ事は如何なる場合にも平気で死ぬる事かと思つて居たのは間違いで、悟りといふことは如何なる場合にも平気で生きて居る事であった」。私は、このような境地にはまだまだ達してはいません。いずれにせよ皆様のご健闘をお祈りします。

※2018年5月の連休に書く。自称「五月の貴公子」こと宮崎正義。昭和42年(1967年)卒。もし私が高齢になったら、この記事を読んだ方は、思い出して少し涙を流してくれたら、幸せと思っています。

平成30年東京鷹桜同窓会総会・懇親会概要

日時：2018年10月20日(土)

場所：レストラン「アラスカ」(日本プレスセンター)

東京都千代田区幸町2-2-1日本プレスセンタービル10階

プログラム

1) 総会 11:00~11:25

- ① 開会の言葉
- ② 会長挨拶
- ③ 議長選出
- ④ 議事
- ⑤ 閉会の言葉



講師：小口英吉 君

2) 講演会 11:30~12:20

- ① 演題 「民間人校長から見た母校長井高等学校への期待」
- ② 講師 小口英吉君 (昭和41年卒)

3) 懇親会 12:30~15:00 (予定)

- ① 開会の言葉
- ② 来賓挨拶
- ③ 来賓恩師紹介
- ④ 乾杯
- ⑤ 懇談
- ⑥ 校歌斉唱
- ⑦ エール
- ⑧ 閉会の言葉



恩師：高橋 實 様

【講師・小口英吉君 (S41卒)】

白鷹町鮎貝で生まれる。東北大学工学部から北海道大学経済学部で学び卒業。農林中央金庫研究所に勤務、その後水産部担当に就任。山形県で民間出身として初の校長として、県立霞城学園高校、南陽高校長として活躍。退職後は信州にある八ヶ岳中央農業大学校長を務めて、今日に至る。

【恩師・高橋 實先生】

S8年9月25日生まれ、85歳。中央大学文学部国文学科卒。寒河江高校教諭から長井高校へ赴任し、長らく教鞭をとる。その後興譲館高校勤務のち長井高校に戻り、定年退職。長井市市立図書館長や生涯習センターなどでなど講師を務めて、今日に至る。

長井高校時代は、ベラメイ口調で、バスケット部顧問として、熱血指導に当たられたことは有名。夏休みの宿題で「読書感想文」を出さなかった生徒の頭を、出席簿で殴る癖があったため、不良生徒たちから大いに恐れられた。

(今回をもって、関東圏在住の我々との懇親の機会はなくなると思うので、お見逃しなく！ クラス担任をして頂いた方やバスケット部だった方は絶対集合して、先生に元気な顔を見せて欲しい！)



工藤美知尋著『海軍大臣 井上成美』

しげよし

— 最後の海軍大将の愛と苦悩に満ちた生涯 —

潮書房光人新社 ¥2376 (税込)

アマゾン・一般書店より7月25日発売

人生は旅路

—進くんとの再会・そしてベトナム紀行—

高梨 英司（昭和 31 年卒）

あれから 20 年近くなる
うか、大勢の人が行き
交う新宿の繁華街で、後
ろから、「英ちゃん！英
ちゃんでないが？」と呼
ぶ人がいる。「英ちゃん」
とは、小、中、高と長井
の学校時代に呼ばれた自
分の愛称であるから、こ



う呼ばれたのは半世紀前の事だ。まさかこんな所に私を知っている人がいるとは！と思いつつ、後ろを振り返って見るとテーラーメイドに身を包んだエグゼクティブ風の初老のジェントルマンがいた。頭には白いものが混じっているが、目形、鼻形、口元、そこから発する声と仕草から、直ぐに進君と分かった。半世紀前の進君はイガグリ頭だった。にも拘わらず、進君と判別出来たのである。思わず、「進君でなえが？」と返した。

進君とは、竹馬の友で、小中高通して同級の斎藤進君である。家も近かったので、一緒に登下校の日が多かった仲である。何十年ぶりかの再会とあって、新宿の行きつけの店で、半世紀ぶりの再会を喜びあい、杯を交わし、思い出話に花を咲かせた。

新宿は、日に百万人もの行き交う人でごった返す街だ。この様な所で何十年ぶりに幼友達と会うとは？偶然にしては、余りにも出来過ぎている。正に奇跡。以来、神様が引き合わせて下さったものと思って、この出会いを大切にしている。

私は、高校三年の時、父の仕事の関係で都立高校に転校した。東京の高校生は、イガグリ頭の地方の高校生とはまるで違って、田舎の高校から転向した私には、戸惑うことが多かった。授業の進度は、長井高校の方が一歩進んでいる科目もあったが、逆のも多く、初めの頃は、面食らう事がしばしばあった。しかし、慣れるにつれて、長井高校でしっかり基礎を身に付けて頂いたお陰で、滞る事なく乗り切る事が出来た。基礎を付けて下さった母校の先生方に感謝している。部活で培った「ナニクソ精神」も手伝って、難関を乗り切って卒業する事が出来た。

東京での高校生活は短かったが、新たな友人を得る事も出来た。転校によるハンデもあったが、

転校によって得られた事の方が多い。一生の宝と
思っている。転校ではなく留学と考えるように
なった。

やがて、社会人になった。学校を出てから、脇見も降らず仕事に打ち込んで来たので、すっかり長井の友人達とは疎遠になっていたが、進君との再会が出来たお陰で、再び長井人との友好の輪が広がってきた。出会いの大切さを悟っている。

都会生活にも慣れ、仕事も覚えた頃、若さも手伝って起業精神が湧いてきて、会社を設立した。建設関係の特殊技術の技術者集団である。人生は出会いである。会社を開業してみると山あり谷ありであったが、多くの人に出会い、支えもあって、仕事に恵まれ事業も順調に推移して来た。技術は品質が勝負である。また、ニーズに合った技術が要求され、世の中の変化に合わせ、絶えず進化が必要である。

技術は人だ。どうすれば部下の底力を引き出せるかが大切と考えてきた。技術者には誇りをもって、喜んで仕事をして頂くのが大切だ。優れた業績を上げた技術者には、感謝の意を表すために、毎年ご褒美を用意している。今年はベトナム旅行をプレゼントした。私も旅行に同行した。ベトナム料理が美味しい事もあるが、親日的で、同国には学ぶ所が多いのでこの国を選んだ。

初めに、首都ハノイに着いた。清楚で美しいアオザイを着こなした女性が出迎えてくれる。目抜き通りには、東京の銀座にも劣らない立派なビルが立ち並ぶ。しかし、裏通りや地方は遅れている所もある。自転車が主な移動手段だ。

初代大統領の故ホーチミンの銅像がある。偉業を讃え記念に立てられたものと思う。銅像には、多くの市民が訪れている。国民から愛されて慕われて尊敬されている事が伺われた。

ホーチミン市は、故ホーチミンに因んで付けられた名称である。整備された道路、街路樹、そして、フランス風の建物が建ち並んでいる。かつて”東洋のパリ”と称された面影を忍ばせている。

ベトナム戦争を思い出した。植民地時代を経て、南北に分断され、長期の戦争の舞台にされた悲しい歴史を持っている。しかし、戦争の惨禍に見舞われながら、荒廃の中から見事に立ち直り、発展している。復興目覚ましいのが印象的であった。これは、終戦に導いたホーチミンの指導、業績やドイモイ政策推進の成果でもあるが、国民が、勤勉で働き者である事の証でもありと考えている。復興の足音が鳴り響く同国を歩いていると、かつての日本を思い出した。

メコン川は、標高 5,000m以上のチベット高原に源を発し、ラオス、カンボジア等の隣国を貫流し、南シナ海に注ぐ大河である。栄養豊富な土壌をデルタに運び、その地を大穀倉地帯にしている。デルタに広がる大穀倉地帯を潤して、ゆったりと

流れている。大河は雄大だ。

ベトナムでは多くの方々との出会いがあった。

この度の旅行を通して、平和と国民の幸せを希求する国民の息吹が感じ取れた。

電話交換手の職業を選んで

—長井弁克服に苦闘した入社したての頃!—

川崎 美和子 (昭和 39 年卒)



昭和 39 年東京オリンピックが開催された 4 月、電信電話公社市外電話局に、電話交換手として入社しました。

容姿にコンプレックスを持っていた私は、一生の職業にしようと意気込んでいました。

4 月から始まった 3 カ月の訓練で、思った以上に大変だったのが電話交換対応訓練でした。

私のクラスは、青森出身の方から長崎出身の方までいて、対応訓練の先生が思わず笑ってしまわれるほど、ローカル色が豊かでした。

早く標準語で皆の前で話せるようになりたい一心で、ラジオやテレビなどで、他人の話し方をよく聞いて、一人の時などは相手のいない独り芝居のように練習しました。

当時私は兄と同居していたのですが、寝言で練習している様子を聞かれ、笑われた記憶があります。

訓練期間が終わって、電話の接続部門を希望していましたが、「105番」という諸々の問い合わせ



(一番カワイイ女子が筆者)

せや、苦情受付の部に配属になってしまいました。

朝、申し込んだ通話が夕方になっても接続出来ない時など、「寝てんじゃないか」とか「電車で行った方が早い」とかの苦情のお客様対応に、1 時間もかかってしまう事もしばしばありました。

私の声が、国際通話だった父島が復帰した時の電話交換対応の教材になりました。

1980年代になると全国自動化が進み、社員 4 千人とも言われた市外電話局も廃局になり、社員は各電話局の営業職へと配転となり、私の支店の総務に転勤になりました。

総務課で女性一人となり、どうしても電話を取るのが一つの仕事で、市外電話局とは違ったお客様に神経を使いました。

支店長のお客様が来店された時、私の電話対応を気に入って下さって、い



(右奥が筆者)

て、「いつも電話を取り次いでいただき、ありがとうございます」とお礼を言われたことがありましたが、姿が見えない声の職業を気に入っていただいたので、恥ずかしく思いました。

入社した年に、母が病気になり、毎月のように田舎に帰っていた時や、ゴールデンウィーク、お盆の時など、山形弁に戻らないように気を使って話していた頃が思い出されます。

もし電話交換手の職業を選んでいなかったら、友人の妹さんのように、「お姉さんを面倒しておごやえな」というような、温かい山形弁が自然に出る生活をしていたかも知れません。

長井市アンテナショップ 長井市東京事務所

(一財)置賜地域地場産業振興センター
東京事務所

〒144-0051
東京都大田区西蒲田8-3-6橋本ビル1F
TEL/FAX 03-6424-7860

乃木坂歯科クリニック

院長 藤野よし男
藤野由美子 (昭和43年卒)

〒107-0052 港区赤坂9-5-26/パレ乃木坂202
TEL 03-3404-9838

年に1回は、歯のチェックを!

発足2年目の『ふるさと長井会』

『ふるさと長井会』事務局長 那須 優則 (昭和49年卒)

昨年の本会の会誌で、『ふるさと長井会』の安部浩会長(前東京鷹桜同窓会会長(36卒))が、「首都圏に『ふるさと長井会』が誕生」と題して、『ふるさと長井会』を紹介されました。今回はその続編です。



平成29年度の主な活動は、(1)総会・交流会、(2)会報の発行、(3)長井市との意見交換、(4)やぎりんコンサートの後援、(5)出前講演会(門岡良昌氏(スパコン「京」の開発者)による長井工業高校、長井南、北中学校での講演)、(4)長井市内ものづくりメーカーの視察、西置賜産業会の大田区企業訪問の仲介、(5)長井市PRイベントの開催、(6)雪灯り回廊IN池上本門寺の共催などでした。

平成30年度の総会(6月23日)で、会長に安部浩氏、副会長に斎藤雄三氏(36卒)、桑島寛之氏(46卒)、梅津武氏が引き続き選出されました。現在の各部会の活動と東京鷹桜同窓会関係の役員等を紹介します。

【総務・広報部会】梅津武氏、安部義男氏(30卒)、工藤美知尋氏(41卒)、宮崎正義氏(42卒)、斎藤隆氏(49卒)、他4名が部会員です。総会・交流会のセッティング、会報作成、会員募集、会員相互の交流等が担当です。安部義男氏は長井会設立準備会の会長を務められ、長井市と東村山市との防災協定にご尽力されました。部会長の梅津氏は山形県人東京連合会の役員を長年程務められています。

【子育て・教育部会】土谷敏雄氏(29卒)、丸川満氏(39卒)、鈴木勉氏(43卒)、八木倫明氏(51卒)、高橋美恵子氏(51卒)、高橋直樹氏(53卒)、他2名が部会員です。今年は長井市教育委員会の希望で、鈴木勉部会長が講師として数回講演される予定です。鈴木部会長は世界保健機構(WHO)の薬物依存委員の要職に就かれるなど、国内外で活躍されています。もちろん、今年もやぎりんコンサートを協賛しています。

【観光・移住部会】末吉暁子氏(36卒)、荒生保男氏(37卒)、山田敏雄氏(41卒)、鈴木誠氏(46卒)、遠藤剛氏(49卒)、他4名が担当して

います。5月に部会長の遠藤氏、山田氏が長井に赴き、市の関係各課と綿密に打ち合わせを行い、協力体制を構築しているところです。理事の荒生氏は致芳会のリーダーの一人です。鈴木誠氏は前神栖市副市長です。

【産業部会】黒澤俊雄氏(31卒)、副会長の斎藤雄三氏、桑島寛之氏、遠藤文郎氏(49卒)、他5名が部会員です。元豊田合成(株)取締役副社長の斎藤部会長を中心に、今年も長井市、大田区の企業の相互訪問や提携など、speedyに着実に活動しています。

【青年部会】丸岡幸司氏(56卒)、岡添ほづみ氏(57卒)、沼澤秀雄氏(57卒)、蓮見則子氏(57卒)、刈谷美樹氏(平成3卒)、手塚真氏(平成7卒)、他5名です。青年部会員は次世代のふるさと長井会を背負っていかれる方々です。長井市のPRに欠かせない存在です。

【事務局】長井市総合政策課が事務局です。メンバーは竹田利弘参事(53卒)、鈴木博俊係長(平11卒)、平宗正主任(平17卒)をはじめとする交流推進室職員、櫻井政人氏(長井市東京事務所顧問)、安部俊彦氏(46卒)、那須優則、他1名です。櫻井氏は事務局の他に産業部会、青年部会の理事を担当されています。事務局は長井市と各部会の調整、会計、書記等を行っています。

【監事】今憲行氏(43卒)、竹田茂氏(47卒)です。

本会の目的は長井の発展に寄与することです。本会の各部会と市の各部署が綿密に連携し事業を進めています。人と人との繋がりが強くなれば長井の知名度が上がり、観光客や寄附金が増えるなど、長井がさらに豊かになるチャンスが生まれます。そのため、私たちは長井市の応援団(会員)をもっと増やしたいと思っています。平成30年3月現在の会員は455名で、そのうち東京鷹桜同窓会の会員が約280名と、『ふるさと長井会』をけん引しています。しかし、東京鷹桜同窓会の会員は約1,100名ですので、まだ4分の3の約800名の方が未入会です。

5月6日(日)の「小さな旅(NHK)」で、「ふるさとの鉄道と笑顔舞う駅舎で～フラワー長井線～」が放映されました(<http://www.nhk.or.jp/kotabi-blog/100/296731.html>)。待ちわびた満開の桜、爽やかな春風と並走する紅花ラッピング車両。南長井駅から降りた若さあふれる長井高校の生徒たちは、世代を超えた私たち同窓生そのものでした。生まれた地区、卒業した小学校、中学校は様々ですが、私たちの多感な時期を過ぎた長井への思い入れは同じです。現在、長井市のみならず、南

陽市、川西町、白鷹町、飯豊町、小国町の友誼団体と合同で行える事業も模索しています。多くの方に長井の情報を共有していただきたく存じます。是非、ご入会下さい。年会費は現在のところ無料です。会誌や長井の情報等を送ります。ネットでも発信します。入会の方法は、『ふるさと長

井会』事務局の総合政策課交流推進室（〒993-8601 長井市ままの上5番1号、電話：0238-87-0714、ファックス：0238-83-1070）に気軽に問い合わせてください。入会申込書は長井市ホームページから入手できます。よろしくお願い致します。



ふるさと長井会第3回総会（平成30年6月23日）

挨拶する安部浩会長。本会会員のほか、内谷長井市長、渋谷長井市議会議長、岸田大田区議会議長、平田教育長、山形県人東京連合会原田会長、ふるさと友誼団体幹部等のご来賓、長井市職員が出席された。



総会後の交流会

長井の地酒も入り、大いに意見を交換した。

内谷市長と若手スタッフ等



第13回イーグル会 レポート

庄司 信明 (昭和 45 年卒)

第 13 回イーグル会ゴルフコンペを 5 月 15 日に 8 名の方々の参加をいただき、快晴のコンディションの下開催することができました。

この会場は私、庄司がアルバイトで勤務しているゴルフ場です。

千葉県いすみ市の (万木城カントリークラブ)

の東コース (3132 ヤード) と南コース (3189 ヤード) を回りました。

皆さん長いコースに悪戦苦闘しながらも和気あいあい楽しく回ることが出来ました。またレストランでの昼食の時も昔話などに花が咲き懐かしく語っていました。

結果は今憲行さんが見事優勝され、第 2 位は安部浩さん、紅一点の四釜和子さんが第 3 位に輝きました。

次回は 11 月 6 日を予定しています。初参加の方も大歓迎です。奮って参加して下さい！



鷹桜俳句会始めました!!

福田 ふみ子 (昭和 38 年卒)

以前同窓会の役員であつた武田律子さん (S34 北卒) と、「俳句コーナーか女性コーナーを同窓会会報に欲しいわね!」と語った事がありました。桐山有節さん (S33 卒) 歴史ハイク・鎌倉巡り 3 回で (34 号) 終わってしまい残念に思っています。そこで (歴史ハイク) ならぬ (俳句コーナー) を作っても良いのでは? と話あつたのでし

・ それぞれにゆかしき名あり花菖蒲
・ 青鷺や多国語を聴く石の上
武田 律子



・ 出羽に入る窓一面の青田波
・ 冠雪の月山車窓を遠ざかる
福田 ふみ子



た。たまたま私も少し前から俳句を始めていて、役員会で会った時などは俳句の話をしていたのですが、律子さんも俳句を始めた! と聞いてから役員を辞してから交流させて頂いています。ちなみに東京鷹桜同窓会会報の題字の筆文字は武田律子さんの書です。

「鷹」ならぬ「鷺」・イーグル会 (ゴルフ) も女性の方も入って和気藹々の雰囲気のように結構ですね。

俳句会もハイキング (吟行) して自然 (森羅万象) に親しみながら史跡を見たりします。感想を「五七五」という形式で表現する訳ですので、是非、ご関心のある方はご連絡下さい。

まずは 発起人 二人の俳句をご披露致しましたが、一緒に俳句を楽しみたい方ご連絡お待ちしております。

【連絡先】福田ふみ子

〒107-0062

東京都港区南青山一丁目 3~17~1302

電話: 090-4833-9459

Eメール: fumi.fukuda.@ezweb.ne.jp

平成30年度 [平成30年10月20日迄] 決算報告、役員

一般会計

平 29.6.1 ~ 平 30.5.31 単位：円

収入の部	予算額	収入額	差 異
年会費	270,000	243,000	27,000
懇親会費	780,000	832,000	▲52,000
寄付金	350,000	356,000	▲6,000
本部助成金	13,000	13,000	0
会報広告収入	20,000	2,000	18,000
前期繰越金	534,477	534,477	0
小計	1,967,477	1,980,477	▲13,000
支出の部	予算額	支出額	差 異
総会費	330,000	384,427	▲54,427
懇親会費	700,000	687,340	12,660
会議費	70,000	38,985	31,015
名簿管理費	30,000	0	30,000
通信費	50,000	42,366	7,634
広報費	110,000	110,766	▲766
支払手数料	35,000	29,366	5,634
消耗品費	20,000	4,679	15,321
本部派遣費	100,000	104,928	▲4,928
予備費	522,477	14,800	507,677
次期繰越費	0	562,820	▲562,820
小計	1,967,477	1,980,477	▲13,000

特別会計

平 29.6.1 ~ 平 30.5.31 単位：円

収入の部	予算額	収入額	差 異
雑入金	20	23	3
前期繰越金	2,349,297	2,349,297	0
小計	2,349,317	2,349,320	3
支出の部	予算額	予算額	差 異
支出金	50,000	30,000	▲20,000
次期繰越費	2,299,317	2,319,320	20,003
小計	2,349,317	2,349,320	3

平成30年度役員

会 長	守谷 次郎 (S38 卒)	
副 会 長	佐藤 元保 (S37 卒)	川崎美和子 (S39 卒)
	工藤美知尋 (S41 卒)	藤野由美子 (S43 卒)
学 年 幹 事 長	今 憲行 (S43 卒)	
学 年 副 幹 事 長	井澤 小一 (S45 卒)	高橋美恵子 (S51 卒)
副 事 務 局 長	八木 倫明 (S51 卒)	佐藤 俊之 (S60 卒)
	大野 治雄 (S46 卒)	小口 英吉 (S41 卒)
	齋藤 隆 (S49 卒)	
監 査	鈴木 仁 (S38 卒)	木村 清次 (S44 卒)

平成31年度 [平成30年10月21日から] 予算・活動報告、新役員(案)

一般会計

平 30.6.1 ~ 平 31.5.31 単位：円

収入の部	予算額	前期度予算額	差 異
年会費	270,000	270,000	0
懇親会費	780,000	780,000	0
寄付金	350,000	350,000	0
本部助成金	13,000	13,000	0
会報広告収入	20,000	20,000	0
前期繰越金	562,820	534,477	28,343
小計	1,995,820	1,967,477	28,343
支出の部	予算額	前期度予算額	差 異
総会費	330,000	330,000	0
懇親会費	700,000	700,000	0
会議費	70,000	70,000	0
名簿管理費	30,000	30,000	0
通信費	50,000	50,000	0
広報費	120,000	110,000	10,000
支払手数料	35,000	35,000	0
消耗品費	20,000	20,000	0
本部派遣費	120,000	100,000	20,000
予備費	520,820	522,477	▲1,657
次期繰越費	0	0	0
小計	1,995,820	1,967,477	28,343

特別会計

平 30.6.1 ~ 平 31.5.31 単位：円

収入の部	予算額	前期度予算額	差 異
雑入金	20	20	0
前期繰越金	2,349,297	2,349,297	0
小計	2,349,317	2,349,317	0
支出の部	予算額	前期度予算額	差 異
支出金	50,000	50,000	0
次期繰越費	2,299,317	2,299,317	0
小計	2,349,317	2,349,317	0

平成31年度新役員(案)

相 談 役	守谷 次郎 (S38 卒)	齋藤 四郎 (S38 卒)
会 長	工藤美知尋 (S41 卒)	
事 務 局 長	安部 省吾 (S38 卒)	
副 会 長	佐藤 元保 (S37 卒)	川崎美和子 (S39 卒)
	小口 英吉 (S41 卒)	藤野由美子 (S43 卒)
学 年 幹 事 長	今 憲行 (S43 卒)	
副 事 務 局 長	井澤 小一 (S45 卒)	高橋美恵子 (S51 卒)
	大野 治雄 (S46 卒)	佐藤 俊之 (S60 卒)
監 査	鈴木 仁 (S38 卒)	木村 清次 (S44 卒)

平成30年6月1日~平成30年11月迄の活動計画

H30年03月31日(土)	役員会 青山IGC学院事務所 30年度行事予定
H30年04月20日(金)	本部同窓会幹事会 長井市内 守谷会長出席
H30年05月12日(土)	前期学年幹事会 青山IGC学院事務所 29年度決算、30年度予算案、活動計画
H30年05月18日(金)	本部百周年記念事業実行委員会 長井市内 守谷会長、佐藤(元)副会長の両名出席
H30年06月08日(金)	百周年チャリティコンサート 東京オペラシティ近江楽堂 実行委員長工藤副会長
H30年06月23日(土)	本部鷹桜同窓会総会・懇親会 長井市タスホテル 藤野副会長、今学年幹事長の両名出席
H30年07月07日(土)	役員会 青山IGC学院事務所 次期同窓会会長選出、支部総会報告、会報編集状況
H30年09月08日(土)	役員会・後期学年幹事会 青山IGC学院会議室 総会議案・総会計画等
H30年09月29日(土)	長井での百周年チャリティコンサート 16:00~18:00 長井市タスホテル、ゲスト歌手望月成美さん
H30年10月06日(土)	役員会 青山IGC学院事務所 総会出席状況・その他
H30年10月20日(土)	総会・懇親会 11:00開始(10:30受付開始) 日本プレスセンター10F(内幸町)
H30年11月中旬 未定	本部支部連絡協議会 長井市内

編集後記

(7月18日 編集長工藤美知尋記す)

1、昨年12月に郵便メール便の料金が90円から160円に実に倍近くアップしたため、これまで、会報と10月の総会に向けたご案内が、今回の1回に集約せざるを得なくなりました。それでも本会の会計は赤字すれすれの状態です。今後本会の維持を図るには、収益のアップのための事業や、経費の一層の削減などに知恵を絞る必要があります。

2、ご多忙の中エッセイをお書き下さいました、高梨英司氏、川崎美和子さん、宮崎正義君、那須優則君の皆様方に、心より御礼申し上げます。読み応えある内容ですので、是非ご一読を。

3、6月16日(土)日生オペラ『魔笛』で、長井高出身の期待の新星梅津碧讓(ソプラノ)が、パパゲーナ役で出演し、長井生まれらしく色白で舞台映える美貌で、立派にデビューを果たされました。長井弁を駆使したパパゲーナに、場内は拍手喝采でした。現在梅津讓は国立ウィーン音楽大学に留学中です。

4、来年6月8日(土)の近江楽堂におけるチャリティコンサートのゲスト歌手は、宝塚歌劇団出身でラテン音楽を得意としている枝元一代讓です。美貌の枝元讓の澄んだ歌声は、ケーナを中心とする八木りんバンドとよくハマりますので、乞うご期待です。

【次期同窓会長選出と役員】 7月7日の役員会で、今年10月20日の総会をもって退任される守谷次郎会長に代わり、次期東京鷹桜同窓会長として、現在副会長、事務局長代行、編集長の工藤美知尋君(S41卒)を推薦する事を決定しました。工藤君は、9月の学年幹事会と10月の総会での承認を待って正式に会長に就任いたします。新副会長には小口英吉君(S41卒)が就任予定。その他の主要役員は留任の見込み。なお守谷次郎会長と齋藤四郎事務局長は相談役に就任し、新事務局長には安部省吾氏(S38卒)が就任します。

【工藤美知尋君略歴】 S22年4月、長井市に生まれる、71歳。S41年長高卒、日本大学法学部卒、同大学院法学研究科政治学専攻修士課程修了、ウィーン大学留学、東海大学政治学研究科博士課程修了、政治学博士。現在青山IGC学院取締役代表、日本ウェルネススポーツ大学教授。ふるさと長井会総務部会理事、山形県人東京連合会理事。

【著書】 『日本海軍・太平洋戦争開戦原因論(上下)』、『日ソ中立条約の研究』(南窓社)、『日本海軍の歴史がよく分かる本』(PHP文庫)、『軍医大尉桑島恕一の悲劇一われ上海刑場の露となりしか』、『海軍大将井上成美』(潮書房光人社)、『特高に奪われた青春—エスペランティスト斎藤秀一の悲劇』(芙蓉書房出版)など多数。

《 学年幹事の皆さん 》

(平成30年6月1日現在)

卒年	名	前	卒年	名	前
昭21中	大竹修一		昭42高	宮崎正義	
昭28高	安部策夫		昭42高	平田節雄	
昭28高	新田正		昭42高	佐藤さち子	
昭29高	鰐淵康彦		昭43高	鈴木勉	
昭30高	片倉新治		昭44高	完戸康男	
昭31南	小形正明		昭44高	沼沢幸雄	
昭31南	青木清		昭44高	丸川元	
昭33南	羽田聰子		昭44高	浅野陽一	
昭33南	齋藤淑子		昭45高	中田啓子	
昭34北	武田律子		昭45高	荘司信明	
昭36南	飯沢武		昭46高	樋口利美	
昭36南	末吉暁子		昭46高	安部俊彦	
昭36北	海老名信子		昭46高	桑島寛之	
昭37南	荒生保男		昭46高	竹田英也	
昭37南	大滝二三夫		昭47高	竹田茂	
昭37北	石井宏子		昭47高	中萩真知	
昭37北	大島陽子		昭48高	鈴木俊彦	
昭38南	影山勝範		昭49高	遠藤剛	
昭38南	中本恵美子		昭49高	那須優則	
昭38南	小関武		昭51高	北村成子	
昭39南	新野昭彦		昭52高	阿曾亮子	
昭39南	丸川満		昭53高	高橋直樹	
昭40高	黒沢輝夫		昭57高	高橋好則	
昭40高	平憲一		昭57高	佐野勝彦	
昭41高	前司憲行		昭57高	沼澤秀雄	
昭41高	菊地淳二		昭58高	鈴木祐子	
昭41高	滝沢久		昭59高	菅野和彦	
昭41高	丸山安子		昭63高	青木昌智	
昭41高	今井直枝		平04高	井上博司	
昭41高	五十嵐正樹		平11高	手塚多美子	

東京鷹桜同窓会事務局

青山IGC学院内
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-21-11
婦人会館302号室
TEL: 03-3373-6121 FAX: 03-3373-6122
E-mail: info@aoyama-igc.com

暑中お見舞い申し上げます

東京鷹桜同窓会役員会一同

(平成30年度)

